

工藤篤子メールマガジン 130号

2008. 09. 22 ●主よ人の望みの喜びよ

ハンブルクは、気温が随分低くなりましたが、このところ抜けるような青空の日々が続いています。

いよいよ明日、ハンブルクから札幌に向かうことになりました。

多くの方が父の手術のためにお祈りくださり、心から感謝しています。

父は17日に前立腺の手術を受け、その後の経過も順調のようで、私が24日に札幌に到着した翌日に退院する予定です。私は一週間ほど札幌で父の世話をし、十月初旬に大阪へ行って、本格的にコンサートの準備をする予定です。



父の全快のために、またこの者も、常にキリストの愛をもって、父の世話をさせてもらう良き時となりますよう、お祈りください。

(写真：北海とバルト海を結ぶ運河)

●主よ、人の望みの喜びよ

バッハの有名な『主よ、人の望みの喜びよ』は、これまで、私が最も頻繁に賛美コンサートで歌ってきた曲です。

三拍子のこの曲は、伴奏一つの四分音符がさらに三連符に分かれています。礼拝音楽創作者たちは、三拍子、三連符を用いて、三位一体、喜び等を表現してきました。以前、この曲を故・岳藤豪希先生にレッスンしていただいた時、伴奏の最初の三連符の始めの休符は三位一体のイエス・キリストであること、そしてこの休符、つまりキリストのもとへ来て平安を得るなら、この曲の意味するところの真実の望みと喜びを得られるのだ、と説明していただきました。



すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しくへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎがきます。(マタイ 11章 28,29節)

岳藤先生の説明を聞いて、私はさらなる感動をもってこの曲を賛美するようになりました。

『主よ、人の望みの喜びよ』は、バッハのカンタータ 147番「心と口と行いと生き方をもって」に挿入

されているコラールです。コラールとは、ドイツ・プロテスタント教会の会衆賛美のことです。『主よ、人の望みの喜びよ』は、カンタータ 147 番の中に “Wohl mir, dass ich Jesum habe “（主イエスを持つ私は幸い）で始まる歌詞で挿入され、そして最後にも “Jesus bleibet meine Freude “（イエスは私の変わらない喜び）で始まる歌詞のもので締めくくられています。

♪ カンタータ 147 番「心と口と行いと生き方をもって」BWV 147 “Herz und Mund und Tat und Leben “

カンタータ「心と口と行いと生き方をもって」は、受胎告知を受けたマリアが、バプテスマのヨハネをみごもっていた親戚のエリザベトを訪問した日を記念する、7月2日、「マリアの訪問の祝日」の礼拝のために作られた礼拝楽曲です。

カンタータ「心と口と行いと生き方をもって」は、以下の合唱のテキストで始まります。

心と口と行いと生き方が恐れも偽善もなく、キリストを証ししなければならない。キリストこそ神であり救い主である、と。

以降、テノールとバスのレチタティーヴォ（「詠唱」あるいは「語り口調で歌う部分」）によって、マリアは、卑しいはしためになしてくださった主の不思議なみ業を証した、と歌います。それに対し、多くの者たちの口はかたくなに閉じていること、そのかたくなさに下る裁きも語られます。それから、私のために道を備えてください、というソプラノの祈願のアリアが続きます。そしてその後には挿入されているのが、私が賛美コンサートで歌わせていただいている歌詞の、最初の「主よ、人の望みの喜びよ」が来ます。



『主よ、人の望みの喜びよ』

Wohl mir, dass ich Jesum habe

主イエスを持つ私は幸いです。

おお、何と私はこの御方をしっかりと抱きしめることでしょう。

イエスは私の心を慰めてくださる、

病の時にも 悲しみの時にも。

私が愛するこのイエスは、

私のためにご自身を捧げてくださいました。

ああ、だからイエスを離しません。

たとえ心が張り裂けるようなことがあっても。

(写真：バッハがマリア・バルバラと結婚式を挙げたバルトロメウス教会の十字架のキリスト像)

私が、この歌詞の方を伝道コンサートでよく歌うのは、このテキストが私の証しそのものであるからです。メルマガ 128 号にも書かせていただきましたが、この曲のクライマックスは「私のためにご自身を捧げてくださいました」 Und sich mir zu eigen gebet です。その最高音は、「ご自身」 eigen、つまり、十字架

に上げられたキリストです。ところが、その最高音が半音低くされているのです。これは神であられる方が、神の栄光を脱ぎ捨てて身を低くし、人となり、罪人となって十字架にかかってくださったことを表しています。この十字架の贖いこそ、私たちが神を賛美し、証しする原点です。ですから、主の十字架を見上げ、今秋も「心と口と行いと生き方をもって」、「だからイエスを離しません。たとえ心が張り裂けるようなことがあったとしても」というイエス様への愛の告白（信仰告白）をもって、キリストの愛と救いを伝えさせていただきたいと思っています。

●10月の予定のためにお祈りください。この者が、主を賛美する者として、日々砕かれ整えられて、それぞれのコンサートが、主の栄光が現わされるときとなりますように。台湾、日本のひとりでも多くの方々が永遠の救いへと導き入れられますよう、お祈りください。

10月9日（木）阪神女性の集い 芦屋ルナホール 10時15分～12時 事務局：宝塚栄光教会 岩間千恵子師 Tel.0797-73-6076 Fax 0797-73-6075

10月11日（土）～10月20日（月）台湾ツアー

（12日（日）台北日語教会、14日（火）高雄 鳳山教会 16日（木）台中 柳原教会、18日（土）台北 双連教会 19日（日）台北 艦甲教会

10月26日（日）浜松ホーリネス教会 ハートフルコンサート 14時～15時30分 連絡先：教会 Tel. 053-472-4850

次回は、日本よりメルマガをお送りさせていただきます。
主の恵みと祝福を心からお祈りしています。

工藤篤子

【事務局からのお知らせ】

① 関西支援者の集い&チャリティコンサートのお知らせ

日時：2008年11月20日（木）午後7時
場所：北浜スクエア（VIP関西センター9F）

② 工藤篤子と行くヨルダン・イスラエル賛美の旅

日時：2009年2月24日（火）～3月6日（金）
定員：25人
費用：368,000円（付加燃費と出国税は含みません。）
申し込み締め切り：2008年11月末

①、②共にお問い合わせは事務局へFAXをお願いします。

Fax 06-6226-1336